

埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第720号

令和5年10月20日編集

発行所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電話 048(645)1906
FAX 048(648)1865
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : <https://www.saitama-vma.org/>
振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 中村 滋
編集責任者 高橋 一成
印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

令和5年度関東・東京合同地区獣医師大会(埼玉)、獣医学術関東・東京合同地区学会開催(詳細版)……………1

第41回ソフトボール大会の開催中止について……………13

獣医療施行規則の一部改正(広告制限の見直し)に関する説明会の見逃し配信について……………13

新入会員報告
新入会員紹介……………14

予告
日本獣医師会主催「2023動物感謝デー in JAPAN」のお知らせ……………15

埼玉県獣医師会学術講習会(東支部担当)のお知らせ……………17

埼玉県獣医師会学術講習会(さいたま市支部担当)のお知らせ……………18

令和5年度日本獣医師会小動物臨床講習会(関東地区)のお知らせ……………19

ひろば
動物愛護フェスティバル2023開催される……………20

新刊のご紹介……………21

お知らせ
埼玉県からのお知らせ……………22

日本獣医師会からのお知らせ……………27

埼玉県獣医師会学術広報版……………35

事務局より
事務局メモ……………35

編集後記……………36

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めま

す。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

令和5年度関東・東京合同地区獣医師大会（埼玉） 獣医学術関東・東京合同地区学会開催

令和5年9月3日（日）午前10時から、さいたま市「ソニックシティ」に於いて、令和5年度関東・東京合同地区獣医師大会(埼玉)・獣医学術関東・東京合同地区学会開催が開催されました。平成24年9月2日(日)以来10年振りの埼玉県での開催でしたが、新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、交流会を含めたすべての行事をコロナ流行前と同様に計画し、直前まで関東地区獣医師会連合会会長として開催準備をした高橋三男前会長（現名誉会長）から関獣連会長を引き継いだ中村滋新会長のもと、実行委員を務めた各役員、総務委員、学術委員、情報検討委員の皆様を始め各会員のご協力により大会・学会を無事終了することができました。

全ての行事の終了後には、4年振りとなる交流会を開催しました。ソニックシティに隣接するパレスホテル大宮において約300名の出席のもと、各学会の学会長賞及び学術奨励賞の発表を行うとともに、多くの御来賓にご挨拶をいただき、乾杯後は時間の許す限り思う存分交流を深めていただき、午後7時30分にお開きとなりました。

また、今回は初の試みとして子育て中の女性獣医師や愛玩動物看護師などのスタッフの参加を支援するため、会場内に無料の託児所を開設しました。



獣医師大会で関東・東京合同地区獣医師会長として挨拶をする中村滋会長
前列左から 桑原保光理事(群馬県獣医師会会長)、上野弘道副会長(東京都獣医師会会長)、
高橋三男埼玉県獣医師会名誉会長、中村滋会長(埼玉県獣医師会会長)



学会会場（4階 市民ホール）



展示会場(地下1階 第2～第5展示場)

令和5年度関東・東京合同地区獣医師大会

関東・東京合同地区獣医師大会は、午後1時から小ホールで開催し、埼玉県獣医師会高橋一成理事（総務委員長）の司会により進行されました。

大橋邦啓副会長の開会の後、物故会員の御冥福と動物への慰霊を込めて全員で黙祷を捧げるとともに、大澤健理事（獣医事調査委員長）が担当して「獣医師の誓い－95年宣言－」の朗読、続いて本年度大会の会長並びに学会会長として埼玉県獣医師会中村滋会長が歓迎と参加への御礼の挨拶を行いました。



司会進行
高橋一成総務委員長



開会の辞
大橋邦啓副会長



獣医師の誓い
大澤健獣医事調査委員長

続いて表彰式に移り、「関東地区獣医師会連合会表彰規程」に基づく特別功労者として、開催直前まで関東獣連会会長を務めた埼玉県獣医師会 高橋三男前会長（現名誉会長）が紹介され、獣医事功績者として各都県市から推薦された54名（うち埼玉県獣医師会5名）が起立するなか、表彰状の代表受領を高橋三男名誉会長が務めるとともに受賞者を代表して謝辞を述べ、受賞者一同、満場の拍手で祝福されました。

本県の受賞者は以下の6名です。誠におめでとうございます。益々の御活躍を御祈念申し上げます。

特別功労賞

高橋三男前埼玉県獣医師会会長
（前関東地区獣医師会連合会会長）

獣医事功労賞

滝沢直樹先生（さいたま支部）
山本祥子先生（南支部）
市川紀文先生（西支部）
蜂須孝政先生（北支部）
伊藤洋一先生（東支部）



表彰状の代表受領
左から 高橋三男前会長、中村滋会長

続いて御来賓として出席を頂いた農林水産省消費・安全局長（代理 畜水産安全管理課課長補佐 大倉尚子様）、厚生労働省健康・生活衛生局長（代理 食品監視安全課課長 森田剛史様）、環境省自然環境局長（代理 関東地方環境事務所野生生物課長 千葉康人様）から御祝辞をいただきました。

また、交流会に出席される埼玉県知事 大野元裕様に代わり、埼玉県農林部長 横塚正一様に御祝辞をいただき、日本獣医師会副会長 鳥海弘様（神奈川県獣医師会会長）には藏内勇夫日本獣医師会会長の御祝辞を代読していただきました。



農林水産省消費・安全局長(代理)
畜水産安全管理課
課長補佐 大倉尚子様



厚生労働省健康・生活衛生局長(代理)
食品監視安全課
課長 森田剛史様



環境省自然環境局長(代理)
関東地方環境事務所
野生生物課長 千葉康人様



埼玉県農林部長
横塚正一様



日本獣医師会
副会長 鳥海弘様

続いて議事に入り、議長に大会長の埼玉県獣医師会 中村滋会長が選出され、昨年度開催担当の神奈川県獣医師会 鳥海弘会長の経過報告の後、各都県市獣医師会から提出された第1号から第6号議案が一括して上程され、中村滋議長が裁決を諮ったところ異議はなく、いずれも原案のとおり満場一致で可決、承認されました。



議事を進行する中村滋議長

承認された議案は直ちに大会宣言として議決されるとともに、青山利雄理事(狂犬病予防委員長)がその早期実現に邁進することを宣言しました。



大会宣言
青山利雄理事

令和5年度関東・東京合同地区獣医師大会宣言

- 1 社会のニーズに応え得る「良質かつ高度な獣医療供給体制」を確立する。
- 2 One Health 理念（ヒトと動物の健康と環境保全の重要性）のさらなる推進をする。
- 3 人と動物との共生社会における「心のバリアフリー」を築いていく。
- 4 日本の獣医事の国際化（獣医師の活動範囲の拡大）を積極的に進める。
- 5 狂犬病予防注射接種率向上を主体とした狂犬病予防対策の推進をする。
- 6 輸入検疫体制等の強化をする。

以上の事項について、満場一致で決議されたところであります。

われわれは、日本獣医師会の取り組みを強力に支援し、それぞれの立場で、より積極的に国民に啓発を行い、理解を求めることによって、早期実現に邁進することを誓い、ここに宣言する。

令和5年9月3日

関東・東京合同地区獣医師会連合会

令和5年度関東・東京合同地区獣医師大会スローガン

- 1 社会のニーズに応え得る「良質かつ高度な獣医療供給体制」を確立しよう
- 2 One Health 理念（ヒトと動物の健康と環境保全の重要性）のさらなる推進をしよう
- 3 人と動物との共生社会における「心のバリアフリー」を築いていこう
- 4 日本の獣医事の国際化（獣医師の活動範囲の拡大）を積極的に進めよう
- 5 狂犬病予防注射接種率向上を主体とした狂犬病予防対策の推進をしよう
- 6 輸入検疫体制等の強化をしよう

続いて次期大会開催担当獣医師会として群馬県獣医師会 桑原保光会長が紹介され、令和6年度は群馬県高崎市の「Gメッセ群馬」に於いて、9月1日（日）に開催することを紹介し、多数の参加を呼び掛けました。最後に宗像俊太郎副会長が閉会を述べ、関東・東京合同地区獣医師大会は、午後2時に閉会となりました。



次期開催担当 群馬県獣医師会
桑原保光会長



閉会の辞
宗像俊太郎副会長

令和5年度関東・東京合同地区獣医師大会会長挨拶

埼玉県獣医師会会長 中村 滋

本日ここに、令和5年度関東・東京合同地区獣医師大会及び獣医学術関東・東京合同地区学会を開催するにあたり、ご来賓のご臨席を賜りますとともに関東・東京地区の多くの会員の皆様にご参加をいただき、盛会のうちに開催されますことを担当獣医師会として、心より厚く御礼申し上げます。また、多年にわたる獣医事活動が認められ、特別功労者及び獣医事功績者として表彰をお受けになる皆様に、心からお祝い申し上げます。

この関東・東京合同地区獣医師大会も、約3年半前から猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に栃木県獣医師会が開催を計画するも中止を余儀なくされ、翌年度も対面での開催は叶わず、長い歴史のなかで初の試みとなるオンラインでの開催となりました。昨年度は神奈川県獣医師会が会場の制約があるなかで何とか対面開催としていただきましたが、残念ながら交流会を開催することはできませんでした。今回は4年振りに交流会を含めてコロナ以前の状況に戻った形での開催を計画させていただきました。新型コロナウイルス感染症は今年の5月8日から感染症法上の5類感染症に位置づけられ、当該新規患者数の発生状況等の把握については、定点医療機関からの報告に基づくものとなり、感染対策は個人や事業者の判断が基準とされるようになりました。しかし、ゴールデンウィークや夏休み、お盆の人の動きの増加に加え、海外からのインバウンド需要の高まりもあり、まだまだ予断を許さない状況にあります。

さらに、重症熱性血小板減少症候群や日本紅斑熱、つつが虫病等、我が国で継続して患者の発生が確認されているダニ媒介感染症ですが、この度、心筋炎で死亡した患者から、国内の野生動物が広く保有していると想定され、マダニを媒介動物とするオズウイルスが分離されるなど、動物由来感染症が注目されており、我々獣医師に与えられた使命も益々重くなる一方です。

このような状況のなか、昨年5月に完全施行された愛玩動物看護師法ですが、本年2月には第1回国家試験が実施され、既卒者、在学者、現任者20,798名が受験し、88.9%の合格率で、18,481名の愛玩動物看護師が誕生しました。これからチーム獣医療として共に歩む、心強い仲間の出現ですが、雇用する立場としての問題や、獣医師として愛玩動物看護師に指示をすることにより、どこまでの責任を受け持ってもらえるのか等、解決すべき問題も多々あります。今回は市民公開講座として、愛玩動物看護師の方々や、これから資格取得にチャレンジしようとする方々に向けた内容とさせていただきました。参考にしていただけると幸いです。さらに、女性獣医師の働く環境問題が注目されているところですが、今回、会場内に無料で利用していただける託児所を設けるなど、幼いお子様をお持ちの女性獣医師が参加しやすい環境に配慮をさせていただきました。今後とも子育てをしながら頑張る女性獣医師を応援させていただく所存です。

結びに、本大会・学会の開催にあたり、ご支援とご協力を賜りました関東・東京合同地区の各獣医師会の皆様をはじめ、ご協賛を賜りました関係各社に深甚なる謝意を表するとともに、ご参加の皆様方のご健勝と益々のご発展を祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

令和5年度獣医学術関東・東京合同地区学会

令和5年度日本産業動物獣医学会（地区学会長 猪熊壽東京大学農学部教授）、日本小動物獣医学会（地区学会長 原 康日本獣医生命科学獣医学部）、日本獣医公衆衛生学会（地区学会長 丸山聡一日本大学生物資源科学部教授）の関東・東京合同地区学会学術発表会は、午前10時からソニックシティビル4階 市民ホール401～404の4会場（小動物獣医学会は演題数が多いため、A、Bの2会場）に分かれて開催されました。

各会場では地区学会長（獣医公衆衛生学会は丸山壮一地区学会長欠席につき、地区学会長代理の森田幸雄麻布大学教授（学識経験者））挨拶の後、途中に昼食及び獣医師大会を挟み、午後4時過ぎまで熱心に発表と質疑応答が行われました。

本年度の発表演題数は、産業動物獣医学会24題（本県からの発表は2題）、小動物獣医学会37題（同8題）、獣医公衆衛生学会12題（同4題）の合計73題（同14題）でした。

また、本県選出の各学会幹事の先生は、それぞれの学会の副学会長に選任されるとともに審査員や座長も務める等、学会の円滑な運営に御尽力いただきました。

各学会の運営に当たっては、学術委員会と情報検討委員会の先生方が各会場において、各会場の責任者、連絡係、時計、表示、照明等を担当していただき、スムーズな進行を図りました。

昼食休憩中の正午～午後12時50分には、各企業にご協力いただき、発表会場において以下のとおりランチオンセミナーを開催し、多くの先生方に参加していただきました。

ランチオンセミナー

セミナー A（産業動物関係）

演題：「新しいBVDコントロールの提案」

講師：小野山一郎（ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルスジャパン株式会社）

協賛：日本全薬工業株式会社

会場：4 F 市民ホール401

セミナー B（小動物関係1）

演題：「犬と猫のリンパ腫 –WHO サブタイプ分類を治療法選択と予後予測に生かす」

講師：辻本 元（日本動物高度医療センター 東京病院）

二瓶 和美（富士フィルム VET システムズ株式会社）

座長：内田 和幸（東京大学大学院農学生命科学研究科 獣医病理学研究室）

協賛：富士フィルム VET システムズ株式会社

会場：4 F 市民ホール402

セミナー C（小動物関係2）

演題：「犬と猫の運動器疾患と健康寿命の延長のためにできること

—抗 NGF 抗体薬という新たな選択—」

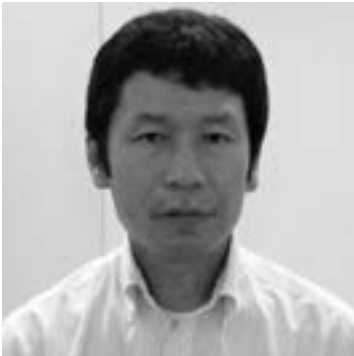
講師：枝村 一弥（日本大学生物資源科学部獣医学科 獣医外科学研究室）

協賛：ゾエティス・ジャパン株式会社

会場：4 F 市民ホール403

副学会長、審査員、座長として活躍した本県の学会幹事の先生方

産業動物獣医学会



福田昌治先生
(農林支部)

小動物獣医学会



小林孝之先生
(北支部)

獣医公衆衛生学会



尾関由姫恵先生
(衛生支部)

市民公開講座

一般の方も無料で参加できる市民公開講座につきましては、午後3時30分から小ホールにおいて開催しました。今年は愛玩動物看護師が国家資格化されたことから、愛玩動物看護師の資格を取得された方や、これから取得を目指す方をはじめ、動物が好きな市民の皆様にも興味深く聞いていただける演題を選定しました。大橋邦啓副会長が開会し、中村滋会長の主催者挨拶に続いて講演が行われ、午後5時に宗像俊太郎副会長が閉会をして終了しました。



御講演いただく菊水健史先生

市民公開講座の演題と講師

演題：ヒトとイヌの共生 これまでとこれから

～これからの愛玩動物看護師の果たす社会的役割について考える～

講師：菊水 健史先生（麻布大学獣医学部教授）

優秀演題発表・交流会

各学会の発表と審査が終了した午後5時30分から、パレスホテル大宮の4階ローズルームにおいて交流会が開催され、その中で各学会の講評と優秀演題の発表が行われました。

交流会は大橋邦啓副会長の開会のことばで開始され、高橋一成理事（総務委員長）、黒崎嘉子元理事（衛生支部）の進行により進められました。優秀演題の発表に先立ち、大会長及び学会会長を務めた中村滋崎玉県獣医師会会長から本日の大会、三学会が多くの会員参加の下、盛大かつ



司会進行
左から 高橋一成理事（総務委員長）
黒崎嘉子元理事（衛生支部）

成功裏に無事終了することができたことへの感謝と御礼が述べられました。

続いて、猪熊壽産業動物獣医学会地区学会長、原康小動物獣医学会地区学会長、森田幸雄獣医公衆衛生学会長代理から各学会の発表に対する講評があり、地区学会長賞及び学術奨励賞の選定結果が発表されました。その結果、本県からは産業動物獣医学会において、大澤玲先生（農林支部 埼玉県農業技術研究センター）の「飼料用イネとバイパスナイアシンによる泌乳牛の暑熱対策」が学術奨励賞を受賞しました。各学会の選考結果は以下のとおりです。



会長挨拶をする中村滋会長

地区学会長賞受賞演題

【日本産業動物獣医学会（関東・東京合同地区）】

演題名：野生のハエにおける豚熱ウイルス保有状況調査
受賞者氏名：小笠原悠（所属：公益社団法人栃木県獣医師会）

【日本産業動物獣医学会（関東・東京合同地区）】

演題名：茨城県内の牛伝染性リンパ腫ウイルス感染牛における感染ウイルスの病原性分類とその分布状況及び特徴
受賞者氏名：藤井勇紀（所属：公益社団法人茨城県獣医師会）

【日本小動物獣医学会（関東・東京合同地区）A】

演題名：ラブラドル・レトリバーに発症する網膜疾患 Stargardt 病の遺伝子型頻度の調査
受賞者氏名：鷹栖雅峰（所属：公益社団法人栃木県獣医師会）

【日本小動物獣医学会（関東・東京合同地区）B】

演題名：液体窒素処置自家骨を使用して患肢温存療法を実施した前肢骨格の骨肉腫罹患犬の3症例
受賞者氏名：矢澤大輔（所属：公益社団法人東京都獣医師会）

【日本獣医公衆衛生学会（関東・東京合同地区）】

演題名：栃木県内で検出された胃腸炎ウイルスの分子疫学解析
受賞者氏名：齋藤明日美（所属：公益社団法人栃木県獣医師会）

学術奨励賞受賞演題

【日本産業動物獣医学会（関東・東京合同地区）】

演題名：飼料用イネとバイパスナイアシンによる泌乳牛の暑熱対策
受賞者氏名：大澤玲（所属：公益社団法人埼玉県獣医師会）

【日本産業動物獣医学会（関東・東京合同地区）】

演題名：乳牛への濃厚飼料多給時のルーメン・肝臓・子宮のクロストークとウルソデオキシコール酸の投与効果
受賞者氏名：大滝忠利（所属：公益社団法人神奈川県獣医師会）

【日本小動物獣医学会（関東・東京合同地区）A】

演題名：稀な発作徴候を示し脳波検査によりてんかんと診断した犬の2例
受賞者氏名：平嶋洵也（所属：公益社団法人川崎市獣医師会）

【日本小動物獣医学会（関東・東京合同地区）B】

演題名：筋性部流出路型心室中隔欠損症の猫に対する外科的根治術の1例

受賞者氏名：寺門友見（所属：公益社団法人神奈川県獣医師会）

【日本獣医公衆衛生学会（関東・東京合同地区）】

演題名：茨城県における新型コロナウイルス全ゲノム解析実施状況について

受賞者氏名：上野 恵（所属：公益社団法人茨城県獣医師会）

優秀演題の発表後は御出席いただいた御来賓の皆様へ御祝辞をいただき、清水勇人さいたま市長及び江原大輔さいたま市議会議長の乾杯の御発声により祝宴が開始されました。



埼玉県知事
大野元裕様



埼玉県議会議長
立石泰広様



衆議院議員
柴山昌彦様



参議院議員・埼玉県獣医師連盟顧問
古川俊治様



衆議院議員
村井英樹様



埼玉県医師会会長
金井忠男様



日本獣医師会副会長
鳥海弘様



乾杯の御発声
右から
さいたま市長 清水勇人様
さいたま市議会議長 江原大輔様

祝宴のなかでも、農林水産省 消費・安全局 畜水産安全管理課 課長補佐 大倉尚子様、厚生労働省 健康・生活衛生局 食品監視安全課 課長 森田剛史様、日本獣医師連盟 委員長代行 中川 清志様、日本獣医師会 専務理事 境政人様に御祝辞をいただき、300名を超える出席者が、コロナ禍で途絶えていた交流の場が4年振りの復活したことを喜び合っていました。



300名を超す出席者で賑わう会場

祝宴が進むなか、関東地区獣医師会連合会会長を直前まで務めており、この大会・学会の準備を中心となって進めてきた埼玉県獣医師会 高橋三男名誉会長が挨拶をしました。その後、麻布大学元応援団長の中村滋会長が出席していた同窓生とともに登壇し、応援のエールを披露しました。



直前の会長として挨拶する
高橋三男名誉会長



中村滋会長と麻布大学OBによるエール

祝宴も終盤となり、締めを次回開催担当の群馬県獣医師会の桑原保光会長が行い、午後7時30分に閉会となりました。

大会・学会の開催に併せて地下の展示場では、賛助会員を始め、関連企業52社の皆様の御協力をいただき、動物用医薬品や関連機器等の展示が行われるとともに、協賛企業の御協力によりコーヒーサービスコーナーも設けられ、終日賑わっていました。

また、抄録集には31社から広告掲載に協賛していただきました。

令和5年度獣医学術関東・東京合同地区学会 発表演題

令和5年度日本産業動物獣医学会（関東・東京）

猪熊壽地区学会長（東京大学大学院農学生命科教授）のもとで24題の発表がありました。本県からの発表は次の2題でしたが、大澤玲先生が学術奨励賞を受賞しました。（発表順）

演 題 名：飼料用イネとバイパスナイアシンによる泌乳牛の暑熱対策
発 表 者：大澤 玲 ほか（埼玉県農業技術研究センター） 学術奨励賞受賞

演 題 名：選抜・増頭で目指せ！「食べて美味しい、病気に強い」県産和牛のレベルアップ
発 表 者：小泉 梓 ほか（埼玉県熊谷家畜保健衛生所）



大澤玲先生(農林支部)



小泉梓先生(農林支部)

令和5年度日本小動物獣医学会（関東・東京）

原 康地区学会長（日本獣医生命科学大学獣医学部教授）のもとで37題の発表がありました。
本県からの発表は次の8題でした。（発表順）

演 題 名：犬の胆嚢血腫の1例

発 表 者：吉田梨乃（とがさき動物病院）

演 題 名：前縦隔に発生した異所性甲状腺癌の犬の1手術例

発 表 者：伊藤雄基 ほか（とがさき動物病院）

演 題 名：脊髄変性症（DM）のキャバリアキングチャールズスパニエル（CKCS）の2例

発 表 者：灰井康佑 ほか（とがさき動物病院）

演 題 名：鼻涙管嚢胞の犬の1例

発 表 者：金山智子 ほか（とがさき動物病院）

演 題 名：超音波ガイドを併用したフィラリア吊りだし術の1例

発 表 者：浅田玄也 ほか（とがさき動物病院）

演 題 名：外科介入により改善した水和髄核逸脱の四肢麻痺の犬の1例

発 表 者：深谷信太郎 ほか（とがさき動物病院）

演 題 名：肩関節固定術の実施前に免疫介在性関節炎と診断した犬の1例

発 表 者：和田恒輝 ほか（武蔵国どうぶつ医療センター）

演 題 名：若齢で発症した脛骨血管肉腫の犬の1例

発 表 者：北宮絵里 ほか（あさか台どうぶつ医療センター）



とがさき動物病院の発表者と諸角元二先生(前小動物獣医学会幹事)
 前列左から 伊藤雄基先生(団体支部)、金山智子先生(団体支部)、吉田梨乃先生(団体支部)
 後列左から 深谷信太郎先生(団体支部)、灰井康佑先生(東支部)、諸角元二先生(東支部)、
 浅田玄也先生(団体支部)



和田恒輝先生(団体支部)



北宮絵里先生(団体支部)

令和5年度獣医公衆衛生学会（関東・東京）

森田幸雄地区学会長代理（麻布大学獣医学部教授）のもとで12題の発表がありました。
 本県からの発表は次のとおりでした。（発表順）

演 題 名：獣医師によるアライグマの現地安楽殺の試みについて
 発 表 者：小山正人 ほか（高坂どうぶつ病院）

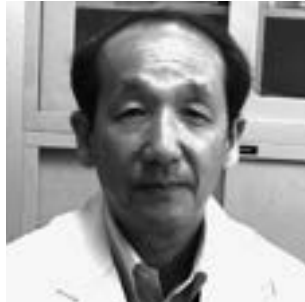
演 題 名：淡水及び海産魚介類における人畜共通寄生虫感染状況と種の同定
 発 表 者：斉藤守弘 ほか（女子栄養大学）

演 題 名：サバの年齢とアニサキス感染率及び寄生数と食中毒リスク
 発 表 者：石原拓樹 ほか（埼玉県食肉衛生検査センター）

演 題 名：海産魚65種のアニサキス科幼虫感染率と寄生種及び検査法の検討
 発 表 者：秋山毅一郎 ほか（埼玉県保健医療部食品安全課）



小山正人先生
 (西支部)



齊藤守弘先生
 (衛生支部)



石原拓樹先生
 (衛生支部)



秋山毅一郎先生
 (衛生支部)

(公社) 埼玉県獣医師会主催 第41回 ソフトボール大会の開催中止について

厚生委員会 委員長 堅木 道夫

恒例の厚生委員会による第41回ソフトボール大会は、10月9日(月・スポーツの日) 午前9時から「大宮けんぼグラウンド S フィールド」において開催予定でしたが、雨天のため開催中止となりました。

獣医療施行規則の一部改正（広告制限の見直し） に関する説明会の見逃し配信について

令和5年10月23日(月)に日本獣医師会がオンラインで開催した、「獣医療施行規則の一部改正(広告制限の見直し)に関する説明会」について、日本獣医師会から見逃し配信の連絡がありました。

実施方法：YouTube(ユーチューブ)による動画配信

視聴方法：視聴用URLは以下のとおりです。

<https://youtu.be/IFxDBMhfbb0>

視聴期間：現在のところ終了時期は未定です(来年の春頃までは視聴可能)。

新入会員報告

新入会員紹介



なかむら まや
中村 摩耶
東支部



なかやま のぞむ
中山 望
東支部

開業部会

支部名	氏名	診療所名
東	中村 摩耶	加須市・中村動物病院
東	中山 望	加須市・ルビー動物病院

広告

人が食べるものと同じだけ安全で
美味しいものを愛犬にも与えたい。

ドクタークレド
Dr. CREDO

胃腸と皮膚が気になる
成犬用 総合栄養食 **No.1**

血流と健康が気になる
中・高齢犬用 総合栄養食 **No.2**

体重と健康が気になる
成犬用 総合栄養食 **No.3**

こだわりの国産品。
いつでも新鮮! 小分けパック。

下部尿路に **No.1**

体重管理に **No.2**

7歳から **No.3**

美味しさに
自信

ドクターイデア
Dr. IDEA

愛犬・愛猫のトータルサポートフード 着色料不使用 自然源由来の酸化防止剤

森久保CAメディカル株式会社

神奈川：046-206-5713 山梨：055-267-6758 東京：042-564-2381 埼玉：04-2968-0881
 三郷：048-948-2112 茨城：0296-54-6101 千葉：043-309-5430

予 告

楽しみながら
獣医師を知り
動物と仲良くなろう！

2023
動物感謝デー
in JAPAN
World Veterinary Day

11/23 (木・祝)
10:00～16:00 入場無料

上野恩賜公園 (不忍池周辺)
JR・地下鉄・日比谷線「上野駅」下車 徒歩約2分
有楽町線「原宿上野駅」下車 徒歩約1分

公益社団法人 日本獣医師会
公益社団法人 日本獣医師会の
ホームページへ

同時開催
令和5年度
動物愛護週間
中央行事 (屋外)

「2023動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」は、は、2023年11月23日（祝木）上野恩賜公園にて開催いたします。お子様やご家族の皆様が楽しめるコンテンツを多数ご用意してお待ちしております。ぜひお問い合わせの上、会場までお越しください。



過去のイベント



TOPIX

催事名：2023動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”
開催テーマ：「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い」
日時：2023年11月23日（木祝） [10:00～16:00] ※雨天決行
会場：上野恩賜公園
主催：公益社団法人 日本獣医師会

2023動物感謝デー in JAPANでは、獣医師の仕事や動物の役割を、ステージイベントやブース展示などを通じて分かりやすく紹介します。誰でも気軽に参加できるプログラムもあり、楽しみながら多くのことを学び、動物や獣医師への理解を高めることができます。

＜イベントにおける注意事項＞

- ・安全のため、会場内では必ずスタッフの指示に従ってください。
- ・各コンテンツの参加体験等ははスタッフが安全管理上適正ではないと判断した方は、体験をご遠慮いただく場合がございます。
- ・動物の体調等により、体験を変更・中止する場合がありますので、予めご了承ください。
- ・会場内では、動物による事故の防止に細心の注意を払っておりますが、ご参加に関しましては各自、自己責任の上ご判断いただきますようお願い致します。
- ・動物に対するアレルギーをお持ちの方は、各自ご確認の上ご参加ください。
- ・同伴ペットの排泄物の処理、器具破損、損害等は必ず飼い主様の責任にてご対応ください。
- ・他のお客様へのご迷惑にならないよう、十分な配慮をお願い致します。
- ・同伴のペットには安全のため必ずリードを着用し、出来るだけ短くお持ちください。
- ・会場内では三密防止のため、注意喚起サインやスタッフの指示に従っていただきますようご協力をお願いします。



・入場状況によりコンテンツの変更・規制・中止をする場合もございます。予めご了承ください。

【イベント内容】 ※内容は変更する場合があります

- ・協賛・後援企業・団体・獣医学系大学等によるステージ企画及びブース展示
 - ・日本獣医学生協会(JAVS)ブース
 - ・獣医学系大学ブース(学校紹介・受験相談)
 - ・1日獣医師体験会
 - ・馬の展示・ふれあい
 - ・他コンテンツ
- 予定

例年ご好評をいただいております一日獣医師体験は本年、全参加枠を事前申込にて受付予定です。申込方法はこちらのサイトでお知らせいたします。



お問い合わせ

2023動物感謝デーin JAPAN 運営事務局(株式会社パワープロジェクト内)
 Mail: doubutsu@powerpj.com
 平日11:00~18:00

主催:  公益社団法人 **日本獣医師会**

いのちみつめる。いのち育む。


[公益社団法人日本獣医師会のホームページへ](#)


埼玉県獣医師会学術講習会(東支部担当)のお知らせ (獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(4) 小3(3))

東支部長 青山 利雄
学術委員会委員長 宗像俊太郎
東支部学術委員 笠次 良宣

この度、どうぶつの総合病院放射線科主任・米国獣医放射線学専門医(放射線腫瘍学)の塩満啓二郎先生、同じくどうぶつの総合病院放射線科主任・米国獣医放射線学専門医(放射線腫瘍学)の吉川陽人先生のお二人をお招きし、普段我々が接する機会の少ない放射線学について、放射線治療適応症例等を交え、実践的に学ぶセミナーを開催いたします。

放射線でどんなことができ、どこまでできるのか目から鱗のセミナーになること間違いありません。この機会に是非放射線治療について知識を身に付けていただきたいと思います。

今回は、どうぶつの総合病院のセミナー室をお借りして、セミナーを行い、その後放射線治療機等の病院内見学ツアー、懇親会を企画しております。先着30名様までのお申し込みとなります。

また、セミナー内容につきましては、後日Webにて配信の予定です。その際、セミナー動画配信後にお二人の先生方にライブでの質疑応答をいただく計画であります。

日 時：令和5年11月29日(水曜日)

17：30～ 受付開始
18：00～19：30 セミナー
19：30～20：00 病院内見学ツアー
20：00～21：30 懇親会+症例相談談話会

演 題：こんなことまでできる放射線治療 ～あなたの知らない世界～

講 師：どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター 放射線科主任
獣医師・米国獣医放射線学専門医(放射線腫瘍学)
塩満啓二郎先生

どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター 放射線科主任
獣医師・博士(腫瘍生物学)、米国獣医放射線学専門医(放射線腫瘍学)
吉川陽人先生

参加条件：当日、確実に参加できる方。先着順30名様にて締め切らせていただきます。

参加費：無料

会 場：どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター内 セミナー室
埼玉県川口市石神815

申し込み方法：下記URLまたはQRコードより事前登録をお願いいたします。

先着順30名様にて締め切らせていただき、申し込み期限は10月20日までとさせていただきます。

<https://forms.gle/5zKXzBwaZqSiiRAD7>



(注)後日Web配信予定のセミナー動画のお申し込みは、改めましてWebセミナー参加申込のご連絡を差し上げます。

令和5年度日本獣医師会小動物臨床講習会(関東地区)のお知らせ

標記講習会につきまして、今年度の開催を担当する神奈川県獣医師会から案内がありました。

日本獣医師会 小動物臨床講習会 合同開催

(公社)神奈川県獣医師会 第41回 卒後教育セミナー

「1次臨床で役に立つ 循環器分野の最新トリアージ」



2023年11月26日(日)14:00~17:00

参加費 無料

会場 日本大学生物資源科学部
9号館 小動物臨床講義室

〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野1866
最寄駅:六会日大前駅(小田急江ノ島線)

申込フォーム

<https://bit.ly/41kva>



申込締切:11月19日(日)

講師

合屋 征二郎 先生

日本大学生物資源科学部
獣医学科
獣医放射線学研究室
助教



●プロフィール

2014年 宮崎大学獣医外科学研究室 卒業
2018年 岐阜大学連合獣医学研究科博士課程 修了
2018年~2019年 岐阜大学連合獣医学研究科 特別協力
研究員
同上 東京女子医科大学先端生命医科学研究所 臨時職員
2018年~2020年 日本大学動物病院 臨床指導獣医師
2019年~2020年 東京農工大学産学官連携研究員
2020年~ 日本大学獣医放射線学研究室 助教
現在に至る

お問い合わせ

(公社)神奈川県獣医師会 事務局



〒251-0024 神奈川県藤沢市鵠沼橋1-16-14 ヤマキビル3-A
TEL:0466-86-5077 FAX:0466-86-5078
E-mail:kva@kanagawavet.or.jp

彩の国さいたま動物愛護フェスティバル2023開催される

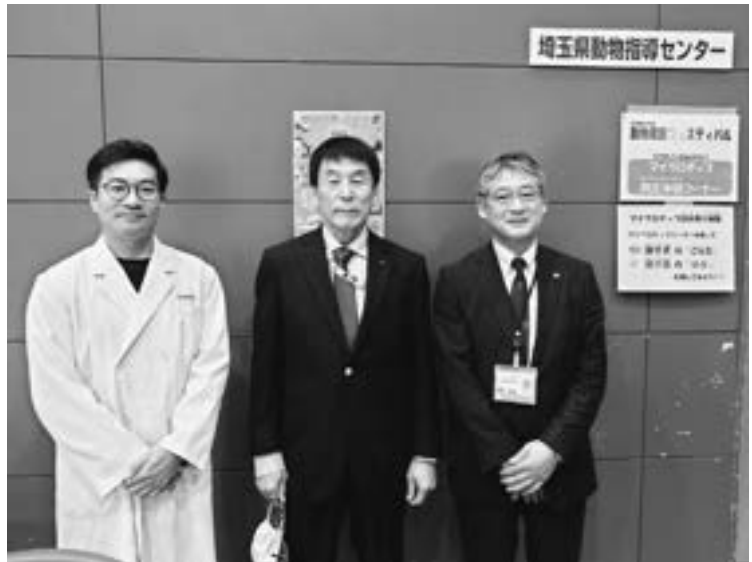
令和5年度動物愛護週間記念事業として、10月14日(土)、15日(日)に、埼玉県が主催し、春日部松伏狂犬病予防事業推進協議会が共催した「彩の国さいたま動物愛護フェスティバル2023」が春日部市の大沼公園市民体育館で開催されました。当会も後援し、10月15日(日)に中村 滋会長が会場を訪問しました。

動物愛護フェスティバルは、動物の愛護及び管理に関する法律第4条に基づく動物愛護週間事業のひとつとして、広く動物愛護思想の普及啓発を図ることを目的に、平成5年度から「人と動物が共存できる豊かな社会をめざして」をテーマに実施されています。コロナ禍での中断はありましたが、毎年、県内各地域において開催されています。

今回は第27回かすかべ商工まつりの会場の一角での開催となり、「動物のお医者さん体験」、「マイクロチップ測定体験」、「ペットの健康相談」など、子供連れの家族を対象とした催しものが企画されました。

当日は残念ながら雨天のなかでの開催となりましたが、幸い動物愛護フェスティバルの会場は体育館の中であったため、多くの来場者で賑わい、地元の開業獣医師や埼玉県動物指導センターの職員など当会会員の獣医師が対応に追われていました。

なお、今年度の動物愛護フェスティバルは、11月14日(火・県民の日)10時～15時に、埼玉県動物指導センター本所(熊谷市板井123)でも開催されます。「ワンちゃんやモルモットとのふれあい」、「ふれあい譲渡館見学ツアー」、「聴導犬のお話とデモンストレーション」、「どうぶつクイズ」など、小さなお子様から大人まで楽しみながら動物愛護についての関心と理解を深めることができる催しなどが予定されています。



左から 佐藤朗先生(東支部 春日部分会)、中村滋会長、前野直弘埼玉県動物指導センター所長(衛生支部)



会場を訪れる家族連れ



白衣と聴診器で獣医師体験

新刊のご紹介

西支部長 堅木 道夫

このたび、当会の元副会長で西支部狭山分会所属の比留間一男先生の著書、いるまの動物風土記「加治丘陵さとやま自然公園」麓で暮らす、が株式会社さきたま出版会より出版の運びとなりました。

加治丘陵は入間市に位置する自然豊かなさとやまです。本書はそんな加治丘陵の麓で獣医師として長年暮らしてきた著者が動物をとおして見つめてきた入間の歴史を親しみやすく記しています。獣医師の目線で感じたことを折々したためてきた興味深い集大成を、この機会にぜひご一読頂きたく、ご紹介させていただきます。現在、Amazon、楽天ブックスなどで取り扱っています。




比留間一男先生(西支部)

広告

Gazing at the future

ZENOAQ

動物の価値を高めること。
それが、私たちの使命です。

 日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

www.zenoaq.com



お知らせ

畜安第615-1号
令和5年9月22日

公益社団法人 埼玉県獣医師会
会長 中村 滋 様

埼玉県農林部畜産安全課
課長 渡辺 志保（公印省略）

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく医薬品及び再生医療等製品の使用の禁止に関する規定の適用を受けない場合を定める省令及び動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令の一部を改正する省令の制定について（通知）

日頃より本県の家畜衛生行政に御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の3ただし書き及び第83条の4第1項の規定に基づき、下記のとおり農林水産省令の一部が改正され、施行されました。

つきましては、貴会会員へ周知いただくとともに動物用医薬品の適切な使用について御協力をお願いいたします。

記

1 改正の趣旨

牛、豚等の食用に供される動物への使用禁止医薬品として、新たに、ニタルソン、ニフルスチレン酸ナトリウム及びロキササルソンを含有する医薬品を追加。

2 改正の内容

（1）医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく医薬品及び再生医療等製品の使用の禁止に関する規定の適用を受けない場合を定める省令（平成15年農林水産省令第70号）別表に「ニタルソンを有効成分とするもの」、「ニフルスチレン酸ナトリウムを有効成分とするもの」、「ロキササルソンを有効成分とするもの」を追加。

（2）動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令（平成25年農林水産省令第44号）別表第1の「ニフルスチレン酸ナトリウムを有効成分とする薬浴剤」の項目を削除し、別表第3に「ニフルスチレン酸ナトリウムを有効成分とするもの」の項を加え、その使用禁止用途として、食用に供するために出荷する対象動物等への使用を規定。

3 施行日

令和5年9月22日

4 今回の改正に関する製剤及び経過措置

別紙のとおり。

畜安第642—4号
令和5年10月10日

公益社団法人 埼玉県獣医師会会長 中村 滋 様

埼玉県農林部畜産安全課長
渡辺 志保（公印省略）

北海道美唄市で回収された死亡野鳥におけるA型インフルエンザウイルス簡易検査陽性の確認に伴う防疫対策の再徹底について（通知）

日頃から本県家畜衛生行政の推進につきまして、御協力いただき感謝申し上げます。

標記について、令和5年10月4日付け5消安第4003号により、農林水産省消費・安全局動物衛生課長から通知がありました。

本事例は、今年度の渡り鳥の飛来シーズンを迎えて以降初めてとなる国内での鳥インフルエンザウイルスの検出が疑われる事例となります。

については、貴会会員に周知のうえ、引き続き、農場へのウイルス侵入防止対策等の再徹底を図るとともに、地域一体となった防疫対策の強化をお願いします。

畜安第 668-2 号
令和5年10月13日

公益社団法人埼玉県獣医師会
会長 中村 滋 様

埼玉県農林部畜産安全課長
渡辺 志保（公印省略）

獣医療法施行規則の一部を改正する省令の公布について（通知）

獣医事行政の推進については、日頃から格別の御理解・御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記について、令和5年10月13日付け5消安第4052号により、農林水産省消費・安全局長から通知がありましたので、貴会会員への周知をお願いいたします。

また、本改正を踏まえて、「獣医療法に関する広告の制限及びその適正化のための監視指導に関する指針（獣医療広告ガイドライン）（平成26年11月25日付け26消安第4083号農林水産省消費・安全局長通知）」が見直される予定となっています。

なお、改正の概要は下記のとおりです。

記

1 改正の主な内容

- (1) 広告制限の特例(広告しても差し支えないもの)の事項が追加（規則第24条第1項）
- (2) 広告制限の特例に併せて課される必要な制限について内容が追加（規則第24条第2項）
- (3) 広告制限の特例に基づき広告する場合の努力義務について、飼育者が獣医療サービスの選択を適切に行うことができるように、獣医師又は診療施設の業務について正確かつ適切な情報を提供するよう努めることが新たに追加（規則第24条第3項）

2 施行年月日

令和6年4月1日

5 消安第 4052 号
令和 5 年 10 月 13 日

都道府県知事（別記参照） 殿

農林水産省消費・安全局長

獣医療法施行規則の一部を改正する省令の公布について

令和 5 年 10 月 13 日付けで、「獣医療法施行規則の一部を改正する省令」（令和 5 年農林水産省令第 52 号）が公布され、令和 6 年 4 月 1 日から施行されることになりました。この改正により獣医療の広告制限の特例に関する事項が追加されましたので、下記について御了知の上、貴管下の関係者への周知方よろしく申し上げます。

なお、本改正を踏まえて、別途獣医療法に関する広告の制限及びその適正化のための監視指導に関する指針（獣医療広告ガイドライン）（平成 26 年 11 月 25 日付け 26 消安第 4083 号農林水産省消費・安全局長通知）についても必要な見直しを行う予定ですので、併せて申し添えます。

記

1 改正の経緯等

- (1) 獣医療の広告については、獣医療法（平成 4 年法律第 46 号。以下「法」という。）第 17 条により必要な制限がされているところですが、獣医療法施行規則（平成 4 年農林水産省令第 44 号。以下「規則」という。）第 24 条においてその特例及びその他の必要な制限を定めているところです。
- (2) 規則第 24 条については、予防注射を行う等の規定を追加して以来見直しを実施していなかったところですが、近年、
 - ① 飼育者等の獣医療に対する関心が高まっており、また、情報発信媒体の変化から、飼育者等に対する正確かつ適切な情報提供が求められていること。
 - ② 技術の進歩や獣医療の高度化・専門化が進んでいること。
 - ③ 医療分野において、専門性の広告等について制度改正があったこと。等の状況変化があることから、当該制限を見直す必要性が生じていたところです。
- (3) こうしたことを背景として、広告制限の見直しについて、令和 4 年 7 月に法第 17 条第 3 項の規定に基づき獣医事審議会に対して意見を求め、同審議会において計 3 回、有識者による議論が行われた結果、令和 5 年 3 月に答申が示されました。

答申においては、

- ① 飼育者等が提供される獣医療サービスを正しく理解し、適切に選択できるように広告制限を見直すこと。
- ② 獣医師の専門性の広告を可能とすること。
- ③ 診療行為の広告の際、「問合せ先」、「通常必要とされる診療内容」、「治療等に係る主なリスク、副作用等の事項」、「診療費用」を表示すること。等の見直し方針が示されたところであり、今般、当該答申の方針に即して規則の改正を行いました。

2 改正の内容

(1) 規則第 24 条第 1 項に、広告制限の特例（広告しても差し支えないもの）として次の事項を加えました。

- ① 農林水産大臣の指定する者が行う獣医師の専門性に関する認定を受けていること（第 1 号）。
- ② 高度な検査、手術その他の治療を行うこと（第 2 号）。
- ③ 寄生虫病の予防措置を行うこと（第 8 号）。
- ④ マイクロチップの装着を行うこと（第 10 号）。
- ⑤ 獣医師の役職及び略歴に関すること（第 11 号）。
- ⑥ 愛玩動物看護師の勤務する診療施設であること（第 16 号）。

(2) 規則第 24 条第 2 項に、同条第 1 項による広告制限の特例に併せて課される必要な制限について次の内容を加えました。

- ① 技能・療法に関する事項を広告する場合にあっては、「問合せ先」、「通常必要とされる診療内容」、「診療に係る主なリスクや副作用」及び「費用」について併記しなければ広告してはならないこと（第 1 号ハ）。
- ② 狂犬病予防注射について広告する場合にあっては、狂犬病予防法（昭和 25 年法律第 247 号）第 4 条に規定する犬の登録及び鑑札並びに同法第 5 条に規定する予防注射及び注射済票に関する説明を併記しなければ広告してはならないこと（第 2 号）。
- ③ マイクロチップの装着について広告する場合にあっては、動物の愛護及び管理に関する法律（昭和 48 年法律第 150 号）第 39 条の 5 第 1 項に規定する犬又は猫の登録に関する説明を併記しなければ広告してはならないこと（第 3 号）。
- ④ 規則第 24 条第 1 項の規定により農林水産大臣が指定する者について、不適當である場合は取り消すことができること（第 4 号）。

(3) 規則第 24 条第 3 項に、同条第 1 項による広告制限の特例に基づき広告する場合の努力義務について、飼育者等が獣医療サービスの選択を適切に行うことができるように、獣医師又は診療施設の業務について正確かつ適切な情報を提供するよう努めることを加えました。

(4) その他所要の規定ぶりの適正化を行いました。

5日 獣 発 第 208号
令 和 5年 10月 4日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会 長 藏 内 勇 夫
(公印及び契印の押印は省略)

家畜衛生関係獣医師職員の確保及び処遇改善対策について

公務員獣医師の処遇改善については、これまで全国の地方獣医師会と連携しながら、所管の都道府県人事委員会等に対する要請活動にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

本会においては、豚熱や高病原性鳥インフルエンザの全国的な発生等、これら越境性感染症のリスクの増大に対応する獣医師の社会的要請は極めて大きくなっているものの、そのための環境整備や獣医師の処遇は未だ十分ではないとして、関係する議員連盟・省庁へ要請を実施してまいりました。

このたび全国家畜衛生職員会では、家畜衛生関係獣医師職員の確保及び処遇改善等の実現に向けて、都道府県支部長を通じて別添のとおり都道府県知事及び貴会あてに要請されたところです。つきましては、貴会におかれましても、引き続き公務員獣医師の確保及び処遇改善に対する要請活動等にご尽力賜りますよう、よろしく願いいたします。

※別添省略

事務連絡

令和5年10月10日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
専務理事 境 政 人**マイクロチップの装着等の義務化に係る
狂犬病予防法の特例に関する対応について**

このことについて厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課及び、環境省自然環境局総務課動物愛護管理室から別添のとおり通知がありました。

今般、マイクロチップの装着等の義務化に係る狂犬病予防法の特例に関する対応について、自治体から問い合わせが多く寄せられている事項を別添1のとおり留意事項を取りまとめたことともに、「マイクロチップの装着等の義務化に係る狂犬病予防法の特例に関する自治体向けQ&A」（令和4年9月21日付事務連絡）（別添2）について了知の上、会員への周知を求められたものです。

つきましては、貴会関係者への周知方、よろしくお願いいたします。

問1 特例制度に参加していない市町村（以下「特例制度不参加市町村」という。）に所在する犬について、マイクロチップを装着し環境大臣に情報を登録（以下「環境大臣への登録」という。）した場合、市町村窓口における狂犬病予防法による登録を行う必要はありますか。

（厚生労働省回答）

必要があります。特例制度不参加市町村においては、所有者が環境大臣への登録を行っても、動物の愛護及び管理に関する法律（以下「動物愛護管理法」という。）第39条の7第1項に基づく特例通知が当該市町村へ送付されないため、従来どおり窓口等での狂犬病予防法による登録及び鑑札の交付を行う必要があります。

問2 マイクロチップを装着していない犬の所有者が、特例制度に参加している市町村（以下「特例制度参加市町村」という。）の窓口で狂犬病予防法第4条に基づく登録申請に来た場合、当該申請を受けて、原簿への登録を行うことはできますか。

（厚生労働省回答）

特例制度参加市町村であっても、マイクロチップを装着していない犬（マイクロチップの装着が義務である犬を除く。）については、動物愛護管理法第39条の5第1項に基づく環境大臣への登録がなされず、また、同法第39条の7第1項に基づく特例通知が当該市町村へ送付されないため、従来どおり窓口での手続き（原簿への登録・鑑札交付・所定の手数料徴収）が必要となります。

（環境省回答）

令和5年9月現在、マイクロチップ装着義務の対象は犬猫等販売業者（ブリーダー・ペットショップ等の第一種動物取扱業者）のみです。一般所有者の飼い犬・猫のマイクロチップ装着及び環境大臣への登録の義務等について整理しましたので、（参考）を参照のうえ、当該所有者に対して適切に指導又は助言をしてください。

問3 市町村が特例制度に参加した日以降に、当該市町村に所在する犬の所有者が、所有する犬にマイクロチップを装着した場合、環境大臣への登録前であっても、マイクロチップは鑑札とみなされますか。

（厚生労働省・環境省回答）

マイクロチップの装着だけでは当該マイクロチップは鑑札とはみなされません。マイクロチップを装着した犬の所有者は、装着した日から30日以内に環境大臣への登録を行う必要があります。環境大臣への登録後、環境大臣（指定登録機関）から当該市町村へ送付される特例通知により、狂犬病予防法第4条第1項の規定による申請または第5項の規定による届出があったものとみなされます。当該市町村による必要な手続きが行われ、当該マイクロチップは鑑札とみなされます。

なお、既に鑑札が交付されている犬について、当該犬に装着されているマイクロチップが鑑札とみなされた場合は、狂犬病予防法施行規則第16条の4の規定に基づき、犬の

所有者は交付されていた鑑札を当該市町村長に速やかに提出する必要があります。

問4 市町村が特例制度に参加した日以降に、当該市町村に所在する犬の所有者が、所有する犬にマイクロチップを装着し、かつ環境大臣への登録前に、犬の所有者が市町村窓口で狂犬病予防法に基づく登録申請に来た際は、どのように案内すればよいですか。

(厚生労働省・環境省回答)

「マイクロチップを装着した場合には動物愛護管理法第39条の5の規定により、マイクロチップを装着した日から30日以内に環境大臣の登録を受ける義務があること」を犬の所有者に説明いただき、その申請を指定登録機関に行うよう案内してください。犬の所有者が指定登録機関に申請をした翌日（犬の日齢が90日齢未満の場合には90日齢に達した日の翌日）に、特例通知が指定登録機関から当該市町村に送付されますので、動物愛護管理法第39条の7第2項の規定により、狂犬病予防法第4条第1項に基づく犬の登録の申請があったとみなし、狂犬病予防法に基づく登録を当該市町村が行い、動物愛護管理法第39条の7第2項の規定により、当該犬に装着されているマイクロチップを鑑札とみなしてください。ただし、所有者が希望する場合に、特例通知が届くより前に狂犬病予防法第4条第1項に基づく申請に係る業務（原簿への登録・鑑札交付・所定の手数料徴収）を行うことを妨げるものではありません。その場合でも、犬の所有者には、動物愛護管理法第39条の5の規定により、マイクロチップを装着した日から30日以内に環境大臣の登録を受ける義務があることに変更なく、その登録が行われた場合、当該マイクロチップは鑑札と見なされ、狂犬病予防法施行規則第16条の4の規定により、当該犬の所有者は交付されていた鑑札を当該市町村長に速やかに提出する必要があります。

問5 特例制度参加市町村に犬が所在しているか否かによって、マイクロチップの装着及び環境大臣への登録の義務の考えに違いはありますか。

(環境省回答)

特例制度参加市町村に犬が所在しているか否かにかかわらず、マイクロチップの装着及び環境大臣への登録の義務の考えに違いはありません。一般所有者の飼い犬・猫のマイクロチップ装着及び環境大臣への登録の義務等については（参考）を参照してください。

問6 狂犬病予防法第5条の規定により、所有する犬に予防注射を受けさせるにあたり、事前にマイクロチップの装着や環境大臣への登録が必要なのですか。

(厚生労働省回答)

必要ではありません。狂犬病予防注射は、マイクロチップ装着や環境大臣への登録とは、法令上独立した事務です。環境大臣への登録が義務である犬であっても、環境大臣への登録が済んでいないことをもって予防注射を実施しない理由にはなりません。狂犬

病予防注射の接種率向上の観点からも、集合注射会場等に連れて来られた犬について、マイクロチップを装着していない等の事務的な理由で接種を実施しないことは望ましくありません。なお、狂犬病予防法による登録がされていない犬に狂犬病予防注射を実施する場合には、速やかに狂犬病予防法による登録を実施するように指導してください。

(環境省回答)

マイクロチップの装着や環境大臣の登録が必要な場合については、狂犬病予防法第5条の規定における予防注射の実施に関わらず、別途定められています。マイクロチップ装着及び環境大臣への登録の義務等については(参考)を参照してください。

問7 特例制度参加市町村において、マイクロチップを装着した犬の所有者が、環境大臣への登録前に、獣医師から交付された注射済証を持参して、市町村の窓口で注射済票の交付申請に来た場合、当該所有者に対して注射済票を交付することはできますか。

(厚生労働省・環境省回答)

狂犬病予防法施行規則第12条の規定により、注射済票の交付が必要です。狂犬病予防法第4条に基づく犬の登録と同法第5条に基づく予防注射済票の交付が法令上独立した事務であることと同様に、環境大臣への登録と注射済票の交付は別の事務です。環境大臣への登録が済んでいないことをもって注射済票を交付しない理由にはなりません。

なお、狂犬病予防法による登録が未実施である犬の所有者へ注射済票を交付する場合は、速やかに狂犬病予防法による登録を実施するように指導してください。また、一般所有者の飼い犬・猫のマイクロチップ装着及び環境大臣への登録の義務等について、(参考)を参照のうえ、当該所有者に対して、必要に応じて適切に指導又は助言をしてください。

問8 特例制度参加市町村において、犬がマイクロチップを装着している場合、注射済票を交付する必要はないのですか。

(厚生労働省回答)

特例制度において、マイクロチップは鑑札とみなされますが、注射済票とはみなされません。問7のとおり、環境大臣への登録と注射済票の交付は別の事務であるため、マイクロチップの装着の有無にかかわらず、狂犬病予防法第12条第1項の規定に基づき注射済票を交付する必要があります。

(参考)

一般所有者の飼い犬・猫のマイクロチップ装着及び登録の義務等について

犬又は猫の状態		マイクロチップ装着及び登録の義務等
MC未装着		<p><u>飼い犬・猫のマイクロチップ装着は努力義務になります。</u> (未装着の犬・猫の所有者に対してマイクロチップの装着と環境大臣への登録^{※1}を勧めていただきますようお願いいたします。)</p> <p>なお、未装着の犬・猫にマイクロチップを装着した場合は、装着後30日以内に環境大臣への登録が義務となります。</p>
M C 装 着 済 み	環 境 大 臣 へ の 登 録 が	<p>現在の所有者情報等が適切に登録されている。</p> <p><u>環境大臣への登録は完了しています。</u> (犬の所在地等登録内容に変更が生じた場合は、変更30日以内に登録情報を変更するように指導してください。)</p>
		<p>令和4年6月以降にペットショップやブリーダーから購入又は、環境大臣への登録をうけた他者の犬・猫を譲り受けたが、変更登録を行っていない。</p> <p><u>環境大臣への変更登録^{※2}は義務です。</u> (所有者に対して、速やかに変更登録を行うように指導してください。)</p>
	環 境 大 臣 へ の 登 録 が 行 わ れ て い な い	<p>令和4年6月以降に、犬・猫に「MCの装着」をした。</p> <p><u>環境大臣への登録は義務です。</u> (動物病院等で犬・猫にマイクロチップを装着した場合は、所有者に対して、新たに環境大臣への登録を行うように指導してください。)</p>
		<p>令和4年5月末日以前に、「購入・譲渡」又は「MCの装着」をした</p> <p><u>環境大臣への登録が可能です。</u> (既にAIPO等既存の民間登録団体のサービスに令和4年5月末日以前に登録されている所有者もおられます。環境大臣への登録も実施するか否かについては、所有者にその必要性の判断を検討していただくように指導してください。民間登録団体のサービスでは、動物愛護管理法第39条の7に基づくマイクロチップの鑑札みなし規定にはあてはまりません。)</p>
		<p>MCが装着済みの犬・猫を、海外から持ち帰った、もしくは民間登録団体のサービスをうけており、環境大臣への登録を受けていない犬・猫を他者から譲り受けた等。</p>

※1) ここでいう「環境大臣への登録」とは、動物の愛護及び管理に関する法律(昭和48年法律第105号)第39条の5の第1項に基づく登録をいいます。

※2) ここでいう「変更登録」とは、同法第39条の6の第1項に基づく変更登録をいいます。

5日獣発第213号
令和5年10月12日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内勇夫
(公印及び契印の押印は省略)

豚の家畜人工授精用精液の適正な生産及び譲渡のための 家畜人工授精所等における留意事項について

このことについて、令和5年9月29日付け5畜産第1494号をもって農林水産省畜産局畜産振興課長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知の内容は以下のとおりです。

- ① 家畜人工授精は家畜の改良増殖に極めて大きな影響をもたらすことから、家畜人工授精用精液の採取・処理・注入の行為については、家畜改良増殖法に基づいて注意事項等が定められています。
- ② しかしながら、今般、豚の精液の生産及び譲渡において、種付台帳等における必要項目の記載不備、獣医師又は家畜人工授精師の資格を有さない者による精液の採取・処理、家畜人工授精用精液証明書が添付されていない精液の譲渡等、不適切な事案が複数判明しています。
- ③ つきましては、豚の精液の生産及び譲渡において、特に留意すべき点を、別添のとおり整理したので、貴会会員の家畜人工授精所の開設者並びに獣医師又は家畜人工授精師への周知徹底をお願いしたい、というものです。
ついては、貴会会員に周知方よろしく願いいたします。

※別添省略

5 日 獣 発 第 221 号
令和 5 年 10 月 20 日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会 長 藏 内 勇 夫
(公印及び契印の押印は省略)

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令等の一部改正について

このことについて、令和 5 年 9 月 26 日付け 5 消安第 3061 号をもって農林水産省消費・安全局長から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律（昭和 28 年法律第 35 号）第 3 条第 1 項の規定に基づき、昭和 51 年農林省令第 35 号（飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令）の一部が下記のとおり改正され、令和 5 年 9 月 26 日付けで公布、施行されたことについて周知を依頼されたものです。

記

- ・省令別表第 2 の 8 の (5) ギ酸の項に、カとして新たな製剤に係る成分規格及び製造の方法等の基準を追加する。

つきましては、貴会会員に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

令和5年度埼玉県獣医師会学術広報版

(令和5年10月20日現在)

年月日	産業動物	小動物	公衆衛生
4月			
5月			
6月21日(水)		北支部 「最近の感染症の話題と獣医療ネットワーク」 東京農工大学農学部附属感染症未来疫学研究センター 水谷 哲也 先生 【Zoomにて開催】	
7月			
8月			
9月3日(日)	令和5年度 関東・東京合同地区獣医師大会(埼玉) 獣医学術関東・東京合同地区学会 (さいたま市 ソニックシティ)		
10月			
11月29日(水)		東支部 「こんなことまでできる放射線治療～あなたの知らない世界～」 どうぶつの総合病院 塩満 啓二郎 先生・ 吉川 陽人 先生 (川口市 どうぶつの総合病院)	
12月1日(金) ～12月3日(日)	令和5年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (神戸市 神戸国際会議場)		
令和6年 1月21日(日)		さいたま市支部 「犬猫の眼科診療について」 大宮クレールどうぶつ眼科 中泉 直樹 先生 (さいたま市 With Youさいたま)	
1月30日(火)	農林支部 令和5年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会 (さいたま市 埼玉会館)		
2月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
3月10日(日)		さいたま市支部 「演題 未定」 大宮クレールどうぶつ眼科 中泉 直樹 先生 (さいたま市 With Youさいたま)	

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>

ID: SVMA (半角・大文字) パスワード: MITSUO (半角・大文字)

令和5年

10月14日 動物愛護フェスティバル2023(春日部市
～15日 春日部市市民体育館)

10月19日 役員・委員合同会議(さいたま市 さい
たま商工会議所会館)

10月25日 第1回畜産懇話会(さいたま市 プリム
ローズ有朋)

11月5日 ニューレジリエンスフォーラム埼玉大会
(さいたま市 県民健康センター)

11月8日 第67回埼玉県公衆衛生大会(さいたま市
埼玉会館)

11月22日 全国獣医師会会長会議(東京都台東区上
野精養軒)

11月23日 動物感謝デーin JAPAN(東京都台東区
恩賜上野公園)

12月1日 令和5年度日本獣医師会獣医学術学会年
～3日 次大会(兵庫県神戸市 神戸国際会議場)

令和6年

1月30日 埼玉県家畜保健衛生業績発表会(さいた
ま市 埼玉会館)

2月25日 関東・東京合同地区獣医師会監査会・第
3回理事会(さいたま市 ソニックシティ)

編集後記

朝夕は冷え込んでも日中は暑い日々が続いております。いつから夏が始まりいつまでだったかよくわかりませんでした。

さて、過日、公益社団法人日本獣医師会主催でWEBによる獣医師の広告の制限の改正点について農水省から説明を受ける機会がありました。

開業会員の皆様には突然のご案内で、業務時間と重なり視聴できなかった先生方もおられたことと思います。

また、変更点の解釈が難しく、一回説明を受けただけではなかなか理解しにくい点もあったと思います。これに関しては現時点では見逃し配信が実施されており、この会報でも紹介されていますので是非ご視聴ください。

広告の該当性については、かねてより、下記のいずれの要件も満たす場合、これを広告に該当するものと判断されています。

1 顧客を誘引する(顧客の購入意欲を昂進させる)意図が明確であること。2 商品名が明らかにされていること。3 一般人が認知できる状態であること。

時代の趨勢や消費者利益を守ることから、厚生労働省で医師に対する広告の考え方が変更され、医薬品や医療機材等、医療に関連することに関しても解釈が厳密化されてきました。これらを踏まえ獣医師の所轄官庁である農水省や、公益社団法人日本獣医師会では獣医師に対しての広告の制限について、緩和される部分と厳格化する部分を含め議論されてきました。

従来は卒業大学や学位、対象動物などについては表示することができましたが、獣医療が進展する中であっても、より専門性のある資格に類するものについては表示することができませ

んでした。しかし、獣医学術の分野では様々な学会等が存在し、専門的な獣医療の進歩が目覚ましいことを踏まえ議論され、来年4月の省令施行後は緩和される部分として、各学協会の認定を受けた専門獣医師や認定獣医師であることを広告する道が開けてまいりました。これは農水大臣の指定を受け、公益社団法人日本獣医師会に認定協議会を置き、各学協会が認定し、推薦した認定獣医師、専門獣医師を公益社団法人日本獣医師会が一定の基準を設け再認定し、○学会専門医等の広告を可能とさせることになります。これにより動物の飼育者は正しい情報に基づいた選択の範囲が広がります。

また、今まではホームページ上での広告に関しては、情報を欲しい人自らが検索してたどり着いた情報だから問題ないのではないかの解釈がなされており、グレーゾーンも存在していましたが、インターネットが普及し、SNSや動画サイトなどでの発信が当たり前になった現在では、検索上位に表示された情報はだれもが触れることができるため、消費者を惑わせたりトラブルが起きたりしないよう、かなり厳格化された内容となっています。獣医師の診療施設は運営するホームページ上で表示する料金、手術内容、手術に至るまでの経過等、事細かに表示することとなりますので、来年4月に向けて対応が急がれますが、まずは今後、見逃し配信を何度も視聴していただいた上で、詳細についてはより理解しやすいガイドラインなどが早く公表されることが望まれます。

この改正が獣医界の益々の発展に繋がることを祈っています。

(燕雀)



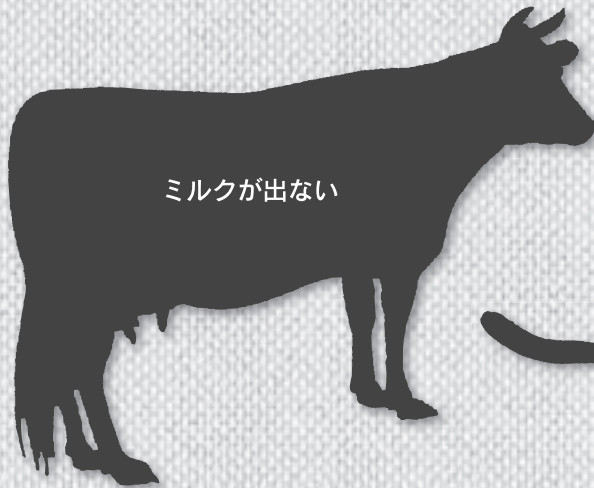
日本獣医師会・獣医師会活動指針

－ 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言－」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながる新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。



ミルクが出ない



太りすぎ



卵が少ない

そんな悩みを

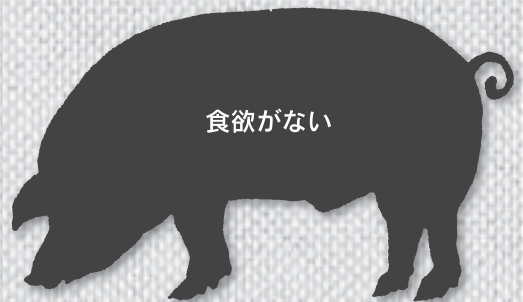
わかっていてくれる。



治りが遅い



高齢化



食欲がない

アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに

牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした

動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。

20世紀は抗生物質の時代、

21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、

健康に関する考え方も大きく変化してきています。

私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、

ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な

生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

本社・長野県営業部

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村8228
TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

北関東営業所

〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井870
TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

さいたま営業所

〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24
TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千葉営業所

〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町243
TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

茨城営業所

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1
TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

山梨営業所

〒409-3863 山梨県中巨摩郡昭和町河東中島1599-4
TEL:055-275-5573 FAX:055-275-5564

アクティ株式会社

<http://www.acty-kk.com>